

小中学生の通学施設を運営する認定NPO法人「コクレオの森」(箕面市)は、学校を拠点に持続可能な社会をつくっていくための実践をまとめた書籍『みんなで創るミライの学校—21世紀の学びのカタチ』(築地書館)を出版した。子ども自身が学習内容を決める主体的な学びや、ルールは全員の合意で決める対話重視の運営手法を具体的に解説。子どもだけでなく大人も学び合う事業展開の重要性を示し、「持続可能な未来を一緒につくっていくませんか」と呼び掛けている。

## 箕面こどもの森学園の教育紹介

り広げている。  
校内のルールや行事は子どもたち同士で話し合い、全員で決めて決定。修学旅行は、

# 自分らしく生きる社会に

## 主体的学び、対話で運営



「持続可能な社会を一緒につくっていくませんか」と呼び掛ける藤田校長(箕面市)

行動計画から費用の捻出まで全て担う。  
その運営手法や規模から法  
定の「学校」ではないため、  
卒業資格は地元の公立学校に在籍する形を取って取得できるようにするが、国連教育科学文化機関(ユネスコ)から  
が必要で、子育て支援▽生涯学習▽まちづくりーを加えた4事業の展開に至った点を紹介。「協働」の重要性を伝えている。

「持続可能な開発のための教育(ESD)」として評価され、ユネスコスクールに認定されている。  
書籍では、学習の促し方から子ども主体の会議の進め方まで、手順や具体例を提示。試行錯誤を続けてきた過程や、たどり着いた活動指針まで盛り込んだ。

一方で、持続可能な社会をつくるためには、学校運営事業だけではなく大人が学ぶ場  
同法人の中心人物4人による執筆方法も独特。各章などで一人が6割程度下書きした後、順番に原稿を回して書き足しや修正を行った。全ての文章に全員が関わり、それぞれの視点を反映できるようにした。

藤田美保校長は「教育関係者だけでなく、さまざまな分野の人に読んでほしい。一人一人が自分らしくいられて、心地よい社会を共につくっていききたい」と未来を見据えている。  
(加星由麿)

◇書籍は四六判、192頁。1760円。